

13-1 . 原著論文

- 1) M.Saito, K. Kuwahara, and A. Tanigawa, Microbial treatment of scrap fish meal and its feed efficiency for fish, European Aquaculture Society, special Publication, 21, 288-289(1994)
- 2) 斉藤宗久, 桑原浩一, 谷川昭夫, 水産加工残滓の微生物処理と養殖魚への餌料化に関する研究, 廃棄物学会講演論文集 397-400 (1994)
- 3) 斉藤宗久, 谷川昭夫, 水産加工残滓の微生物処理と養殖魚への餌料化に関する研究, リサイクル推進管理者育成研修会 九州農林水産関連企業環境対策連絡協議会, 1-7 (1995)
- 4) T. Matsumoto, T. Miyazaki, and M. Watanabe: Reaction of long-lived radicals and vitamin C in g-irradiated mammalian cells and their model system at 259K. Tunneling reaction in biological system, Radiat. Phys. Chem., in press.
- 5) T. Honda, N. Sadamori, and M. Watanabe: Spontaneous immortalization of cultured skin fibroblasts obtained from a high dose atomic bomb survivor, Mutation Res., 354 (1996) 15-26.
- 6) K. Ishii, and M. Watanabe: Participation of gap junctional cell communication on the adaptive response in human cells induced by low dose of X-rays, Intl. J. Radiat. Biol., 69 (1996) 291-299.
- 7) T. Tsutsui, Y. Tanaka, S. Kodama, and J. C. Barrett: Extended lifespan and immortalization of human fibroblasts induced by X-ray irradiation, Mol. Carcinogenesis, in press.
- 8) K. Komatsu, S. Matsuura, H. Tauchi, S. Endo, S. Kodama, et al.: The gene for Nijmegen breakage syndrome (V2) is not located on chromosome 11, Am. J. Hum. Genet., 58, 885-888 (1996).
- 9) K. Suzuki, and T. K. Hei, Mutation induction in g-irradiated primary human bronchial epithelial cells and molecular analysis of the HPRT mutants, mutation Res., 349, 33-41 (1996).
- 10) T. K. Hei, C. Q. Piao, and K. Suzuki: Cellular and molecular alterations in human epithelial cells transformed by high LET radiation, Adv. Space Res., 18, 137-148 (1996).
- 11) K. Suzuki, and T. K. Hei: Induction of heme oxygenase in mammalian cells by mineral fibers: distinctive effect of reactive oxygen species, Carcinogenesis, 17, 661-667(1996).
- 12) 谷川昭夫, 斉藤宗久, 橘 勝康, 八木基明, 柏木大介, 本田正之, 田中躋之輔, 馬場繁広, 水産加工残滓の生物学分解物とその分解物の養殖魚用飼料化に関する研究, 共同研究等促進事業研究成果報告書, 科学技術振興事業団, ナガサキ・テクノポリス財団, 130-140 (1997)
- 13) N. Matsuda, N. Morita, K. Matsuda and M. Watanabe: Proliferation and

differentiation of human osteoblastic cells associated with differential activation of MAP Kinases in response to epidermal growth factor, hypoxia and mechanical stress in vitro, *Biochem. Biophys. Res. Commun.*, 249, 350-354 (1998)

- 14) 斉藤宗久, 谷川昭夫, 橘 勝康, 八木基明, 水産加工残滓の生物学分解物と, その分解物の養殖魚用飼料化に関する研究, 水産利用加工研究推進全国会議, 水産庁中央研究所, 152-155 (1999)

13-2 . 総説など

- 1) N. Matsuda, N. Morita and M. Watanabe: Differential activation of MAP kinases in response to UV radiation under different oxygen tensions, *Photomed. Photobiol.*, 20, 37-38 (1998)

13-3 . 国際学会発表 なし

13-4 . 国内学会発表

- 1) 川端善一郎、金 梵奎、藤山美幸、晦日房和：ウミガメの線維芽細胞におけるストレス応答、日本生化学会、平成 8 年 8 月 26 日、札幌市。
- 2) 晦日房和、川端善一郎、藤山美幸、金 梵奎：ウミガメの甲羅；その性質及び形成メカニズム、日本ウミガメ会議、平成 8 年 12 月 15 日、沖縄県名護市。
- 3) 藤山美幸、川端善一郎、金 梵奎、晦日房和：ウミガメの線維芽細胞の分離及びその性質、日本ウミガメ会議、平成 8 年 12 月 15 日、沖縄県名護市。
- 4) 児玉靖司、小山信治、鈴木啓司、宮崎哲郎、渡邊正己：放射線誘発突然変異と細胞癌化のアスコルビン酸による抑制、第 2 回癌治療増感研究発表会、抄録集、p7、5 月 31 日-6 月 1 日、京都。
- 5) 中畑圭二、渡邊正己、児玉靖司、鈴木啓司：熱による細胞形態と細胞骨格の変化、第 33 回放射線影響懇話会、平成 8 年 7 月 27 日、久留米。
- 6) 渡邊正己、児玉靖司、鈴木啓司：放射線による突然変異と細胞癌化の原因となる常温で安定なラジカル、第 55 回日本癌学会総会、平成 8 年 10 月 10 日-12 日、横浜。
- 7) 鈴木啓司、児玉靖司、渡邊正己：正常ヒト細胞における p53 蛋白質発現と機能制御、第 55 回日本癌学会総会、平成 8 年 10 月 10 日-12 日、横浜。
- 8) 児玉靖司、橋本裕数、鈴木啓司、石崎寛治、渡邊正己：ヒト gadd45 遺伝子の機能解析、第 55 回日本癌学会総会、平成 8 年 10 月 10 日-12 日、横浜。
- 9) 渡邊正己：突然変異と細胞癌化の原因となる長寿命有機ラジカル、日本放射線影響学会第 39 回大会、平成 8 年 11 月 18 日-20 日、大阪。
- 10) 児玉靖司、山口健太郎、鈴木啓司、石崎寛治、渡邊正己：Ataxia telangiectasia 細胞における導入 gadd45 遺伝子の機能解析、日本放射線影響学会第 39 回大会、平成 8 年 11 月 18 日-20 日、大阪。

- 11) 鈴木啓司、児玉靖司、渡邊正己：正常ヒト細胞における X 線による情報伝達系および p53 応答経路の活性化、日本放射線影響学会第 39 回大会、平成 8 年 11 月 18 日-20 日、大阪。
- 12) 中畑圭二、鈴木啓司、児玉靖司、渡邊正己：温熱によるヒト細胞の致死過程における細胞球状化の意味、日本放射線影響学会第 39 回大会、平成 8 年 11 月 18 日-20 日、大阪。
- 13) 中畑圭二、鈴木啓司、児玉靖司、渡邊正己：温熱刺激に対するヒト細胞の球状化と細胞死の関連。第 13 回日本薬学会九州支部大会、平成 8 年 11 月 31 日-12 月 1 日、熊本。
- 14) 竹下哲史、松田尚樹、横山兼久、晦日房和、鈴木啓司、渡邊正己：タイム由来細胞の培養系確立とその温度感受性、第 7 回日本ウミガメ会議、平成 8 年 12 月 14 日-15 日、名護。
- 15) 松田尚樹、竹下哲史、渡邊正己：低酸素ストレスに対する細胞の応答性、第 34 回放射線影響懇話会、平成 9 年 8 月 29 日、長崎。
- 16) 松田尚樹：低酸素ストレスに対する歯根膜細胞の応答性、第 39 回歯科基礎医学会学術大会、平成 9 年 10 月 1 日-2 日、北九州。
- 17) 松田尚樹、森田直子、渡邊正己：UV および酸素ストレスに対する細胞の応答性と MAPK 活性化の関連性、第 20 回日本光医学・光生物学会、平成 10 年 7 月 18 日-19 日、熊本。
- 18) 松田尚樹：ヒト歯根膜細胞の増殖と分化の EGF、低酸素、および機械的ストレスに対する応答性と、それに伴う MAPK の選択的活性化、第 16 回日本骨代謝学会、平成 10 年 8 月 5 日-8 日、東京。
- 19) 斉藤宗久、谷川昭夫：水産加工残滓の生物学的分解と、その分解物の養殖魚用餌料化に関する研究、日本水産学会秋季大会、平成 10 年 9 月 23-9 月 27 日、函館
- 20) 馬渡和尚、谷川昭夫、八木基明、橘 勝康、槌本六良：発酵スクラップミールを用いたマダイ養殖試験、日本水産学会秋季大会、平成 10 年 9 月 23 日-9 月 27 日、函館
- 21) 森田直子、松田尚樹、王 立紅、渡邊正己：UV 照射後の選択的 MAPK 活性化における酸素の役割について、日本放射線影響学会第 41 回大会、平成 10 年 12 月 2 日-4 日、長崎。
- 22) 柳瀬 浩、安藤秀哉、松田尚樹：ヒト正常メラノサイトの UV ストレス応答性、第 13 回日本色素細胞学会年次学術大会、平成 10 年 12 月 5 日-6 日、神戸。
- 23) 谷川昭夫：水産加工残滓と脱脂米糠を用いた機能性発酵飼料の開発、水産加工推進全国会議平成 11 年 6 月、神奈川
- 24) 松田尚樹、堀川美和、吉田正博、奥村 寛、渡邊正己：UVC による MAPK を介したシグナル伝達機構の解析、第 21 回日本光医学・光生物学会、平成 11 年 8 月 6 日-7 日、金沢。
- 25) 馬渡和尚、谷川昭夫、八木基明、橘 勝康、槌本六良：発酵スクラップミールを用いたブリの無投薬飼育の試み、日本水産学会秋季大会、平成 11 年 9 月 26 日-9 月 29 日、仙台
- 26) 斉藤宗久、谷川昭夫、橘 勝康、八木基明、水産加工残滓の生物学的分解と、その分解

物の養殖魚用餌料化について，日本生物工学会九州支部大会，平成 11 年 12 月 4 日，長崎

- 27) 松田尚樹、堀川美和、吉田正博、奥村 寛、渡邊正己：UV による MAP キナーゼ活性化の制御機構、日本放射線影響学会第 42 回大会、平成 11 年 9 月 1 日-3 日、広島。

13-5 . 新聞等

- 1) みなと新聞，平成 11 年 7 月 27 日

13-6 . 特許

- 1) 真珠貝類の人工種苗生産法、特願平 08 - 329038 (平成 8 年 11 月 26 日)、特開平 10-150879 (平成 10 年 6 月 9 日)。
2) 低含有アミン類と K 値の低い水産加工残滓の製造方法，4 件，特開平 10-276681